

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	-----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	教育施設課長 松本 洋子	電話番号	0852-22-5909
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	高等学校校舎等整備事業		
目的	(1) 対象	県立学校の児童・生徒・職員等	
	(2) 意図	安全でより良い環境で学校生活をおくれるように	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 県立学校の児童・生徒・職員等の安全を確保するため、校舎等（建物の構造体）に対する耐震補強工事を実施する。 一定規模の吊り天井やバスケットゴール等非構造部材の耐震対策を実施する。 		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			耐震診断率（第2次診断）	目標値		98.00	100.00	100.00	100.00
		耐震診断実施済棟数÷耐震診断対象棟数	実績値	96.20	97.40	99.10	99.10		%
			達成率		99.40	99.10	99.10		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		耐震化率	目標値		93.00	100.00	100.00	100.00	%
	耐震性能のある棟数÷全対象棟数	実績値	89.40	94.40	97.30	98.30		%	
		達成率		101.50	97.30	98.30		%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	2,645,205	2,961,436
うち一般財源(千円)	2,549,790	1,866,303

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・校舎等（構造体）の耐震診断は、今後改築予定のない建物について全て実施済み（解体予定の建物の一部に未実施建物あり）。耐震対策工事（改築も含む）は、平成26年度に6校実施したことにより計画とおり進捗し、耐震化率は全国平均を上回り、平成27年度末には耐震化率が100%になる予定である。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・建物の耐震補強工事については、改修・改築するなどして今年度で完了する予定である。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・屋内運動場等の非構造部材（一定規模の吊り天井、バスケットゴール、照明等）の早期の耐震対策を求められている。

②困っている状況が発生している「原因」

・対策を必要とする箇所数が多いが、限られた財源の中で実施していかなければならない。
・学校の授業や部活動との調整を図りながら、早期に効果的な対策を取らなければならない。

③原因を解消するための「課題」

・文部科学省の示す基準や指導等を踏まえた適切な対応を取るために優先順位をつけ、限られた予算で最大の効果が得られるよう、学校教育活動等との調整を図りながら、計画的に事業実施を進める必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・建物（構造体）の耐震化は、平成27年度末で完了する予定。
・非構造部材（一定規模の吊り天井、バスケットゴール、照明等）の耐震化対策については、優先度など点検・調査結果をもとに順次対策を講じていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）